

愛知県立芸術大学 大学院

# 音楽研究科 博士前期課程 学生募集要項

令和

4

年度入学用

## 音楽研究科 博士前期課程

出願期間：令和3年8月26日～令和3年9月2日 午後5時必着

試験日程：令和3年10月23日、24日

合格発表：第1次選考/令和3年10月24日 午前8時

最終選考/令和3年11月2日 午前11時

入学手続：令和3年12月21日

## 愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程

### ■入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

#### ◎求める学生像

- ・音楽芸術における高度な知識・技能・表現力・応用力をもつ人
- ・自発的に社会の需要を掘り起こす意識を持っている人
- ・学際的研究能力と国際的な感覚を持ち合わせた人

#### ◎入学前に身につけてほしい学習成果

- ・音楽芸術の高度な専門能力
- ・音楽芸術に関する理論知識
- ・語学力と国際的感覚

#### ◎入学者選抜の基本方針

提出作品（作曲領域）、実技試験、研究計画書、口述試験、外国語、西洋音楽史などの試験結果を統合して選抜します。

### ■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### ◎ディプロマ・ポリシー達成のための教育課程の編成方針

学部で習得した音楽一般および専門能力を土台とし、さらに高度な専門性を身につけ自らが開拓していく力を養うことを目指しています。

#### ◎具体的なカリキュラム構成と特徴

年度ごとに研究計画を立て、学部で培った作曲、研究、演奏能力を深化させるとともに学際的研究能力を身につけることで、音楽研究を高度に発展させる力を養います。単一専攻制であるため、各専門分野を深める授業のみならず、他領域の授業や、教養教育、或いは美術研究科との連携も含めた複合領域による授業など、領域横断的な研究を行うことが可能となっています。博士後期課程への研究の継続性を図るため、創作・演奏領域の学生の修了論文（一部選択）の指導も行います。

#### ◎教育課程の評価方針・方法

学生個々の研究計画書と研究報告書をもとに研究状況を総合的に評価します。

### ■修了認定・修士授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### ◎人材育成目標

高度な専門性と幅広い知識、旺盛な国際感覚をモットーに、現代社会における真の音楽芸術のプロとしての能力を身につけ、国際的な視野を持って芸術文化の発展に寄与できる人材を育成することを目指しています。

#### ◎修了までに身につけるべき資質・能力

- ・音楽芸術の専門家としての高い表現能力
- ・学際的な研究方法と専門的な知識
- ・自らの才能と技術を生かして社会の需要を作り出す力
- ・領域の枠を超えた学修によって得た広い視野と応用力、国際感覚

#### ◎学位授与の方針・評価方法

- ・領域により「修士作品」、「修士論文」又は「修士演奏」等の審査及び最終試験に合格したものを修了と認め、修士（音楽）の学位を授与します。
- ・所定の在学期間の確認、必要単位修得の確認
- ・「修士作品」、「修士論文」又は「修士演奏」及び最終試験等を審査し総合的に評価します。

## 目 次

1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願手続	3
4. 出願書類	3
5. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について	4
6. 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先	4
7. 選抜方法	4
8. 試験日程及び試験科目	5
9. 合格発表	5
10. 入学手続	6
11. 授業料	6
12. 入学検定料、入学料、授業料の免除制度について	6
13. 入試結果の開示	7
14. 個人情報の取扱いについて	7
15. 教員組織（令和3年4月1日現在）	8
■実技試験内容及び課題曲	10
■令和3年度入学試験実施状況	15
■令和3年度試験問題	16
■様式集	
・入学願書	
・入学検定料納付証明書貼付欄／受験者写真票／受験票	
・研究計画書 表紙（音楽学領域）	
・研究計画書 表紙（音楽学領域以外）	
・入学検定料振込用紙	

新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、募集要項に記載している選抜方法・日程等を変更する可能性があります。随時、本学ウェブサイトから「入試情報」をご確認ください。

# 令和 4 年度愛知県立芸術大学大学院 音楽研究科博士前期課程学生募集要項

## 1 募 集 人 員

音 楽 研 究 科	音 楽 専 攻	領 域	募集人員
		作曲	30 名
		音楽学	
		声楽	
		鍵盤楽器（ピアノ）	
		弦楽器	
		管・打楽器 ※	

※令和 4 年度より「管楽器領域」及び「打楽器領域」を統合し、「管・打楽器領域」とします。

## 2 出 願 資 格

本研究科に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学を卒業した者及び令和 4 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により、学士の学位を授与された者及び令和 4 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 4 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 4 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 4 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 4 年 3 月 31 日までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 4 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号） ※1
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 4 年 3 月 31 日までに 22 歳に達したもの ※2

※1 旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者を示す。

※2 出願資格(9)により出願しようとする者は、必ず令和 3 年 7 月 1 日（木）までに入試課に申し出て、令和 3 年 7 月 15 日（木）までに出席資格審査申請書を提出してください。

### 3 出 願 手 続

#### (1) 出願期間

令和3年8月26日(木)から9月2日(木)まで

最終日の午後5時までに郵便で必着とします。ただし、9月2日(木)午後5時以降に到着したものは、9月1日(水)までの消印があり、かつ、簡易書留(書留可)速達郵便に限り受理します。

#### (2) 出願方法

出願書類を本学所定の出願用封筒を用い「簡易書留郵便(書留可)」により郵送してください。普通郵便及び直接持参は受理しません。郵便事情を考慮して早めに郵送してください。

出願用封筒の表に必要事項を記入し、志望する領域名に○をつけてください。

### 4 出 願 書 類

(1)～(5)及び出願用封筒は、本募集要項巻末の様式及び本学所定の封筒を用いてください。

#### (1) 入学願書

様式に必要事項を記入してください。願書に記入する氏名と、成績証明書等に記載された氏名とが異なる場合は、氏名変更の経緯が確認できる書類(戸籍抄本等)を提出してください。

#### (2) 入学検定料納付証明書貼付欄・受験者写真票・受験票

それぞれ、氏名、志望領域を記入してください。受験者写真票には、写真1枚(縦4cm×横3cm、正面、上半身、脱帽、出願前3か月以内に撮影したもの)を貼付してください。写真の裏面に氏名、志望領域名を記入してください。

#### (3) 入学検定料 30,000円

ア 入学検定料振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。

イ 「ご依頼人」欄は受験者本人の氏名を記入してください。

ウ 入学検定料の納入は、振込依頼書により必ず**金融機関の窓口**で行ってください。

ゆうちょ銀行及びATMからは送金しないでください。

エ 振込手数料は、各自ご負担ください。

オ 検定料納付証明書は、入学検定料納付証明書貼付欄に貼り付けてください。

#### (4) 研究計画書

音楽学領域以外の志願者は、1,200字程度の研究計画書を所定の様式で提出してください。

音楽学領域の志願者は、10ページ「Ⅱ.音楽学領域の研究計画書」を参照のうえ、所定の期間内に提出してください。詳細については、巻末の研究計画書表紙の記載事項を参照してください。

#### (5) 返信用封筒(受験票等送付用)

受信地住所、氏名、郵便番号を明記し、**速達郵便料分(374円)の切手**を貼付してください。

#### (6) 出身大学の成績証明書(本学卒業者及び本学卒業見込みの者は提出不要)

出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。

#### (7) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書(本学卒業者及び本学卒業見込みの者は提出不要)

出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。

(注) 学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位証の写し、授与見込の者については学位授与機構が発行した学位授与申請受理証明書又は下記の①及び②の書類を提出してください。

①志願者が在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了見込証明書

②志願者が学位の授与を申請する予定である旨の志願者が在籍する短期大学長又は高等専門学校長の証明書

## (8) その他

- ア 納付された入学検定料及び提出された書類は、返還しません。
- イ 提出書類の不備のものは、受理しません。
- ウ 訂正した箇所には、必ず訂正印を押してください。
- エ 受験票は、入学手続の時まで大切に保管してください。
- オ 外国人留学生は、各出願書類の日本語訳を添付してください。
- カ 試験は、対面で実施します。海外から来日し受験を検討している方は、日本へ入国・滞在できるか否かについて、出願前に必ずご自身で確認してください。入国できない場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。
- キ 外国人留学生は、入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法」(昭和26年政令第319号)において、大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。
- ク 受験票は、令和3年9月7日(火)以降に送付します。9月14日(火)までに届かなかった場合、入試課までお問合せください。

## 5 障がい有者等の入学志願者との事前相談について

本研究科に入学を志願する者で、障がい有者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

### (1) 申し出の時期

令和3年7月27日(火)まで

### (2) 申し出の方法

次の事項を記載し、入試課まで書面で申し出てください。

①志望領域      ②障がいの種類・程度      ③受験上の特別な配慮を希望する事項

④修学上の特別な配慮を希望する事項      ⑤その他参考となる事項

なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は下記によります。

### (3) 相談の時期

令和3年8月5日(木)まで

### (4) 相談の方法

相談申請書に医師の診断書(身体障害者手帳を有する者はその写し)を添えて自己申告してください。必要に応じ、本研究科において志願者との面談等を行います。

## 6 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課

電話 0561-76-2603 (直通) (照会時間は平日午前9時から午後5時まで)

## 7 選 抜 方 法

入学者の選考は、以下のとおり行います。(試験場：本学)

第一次選考 実技試験等(作品審査含む)の成績による判定

最終選考 第一次選考の結果、学力検査及び面接試験の結果を総合した判定

### (1) 評価基準

本学大学院音楽研究科で、研究を深めるために必要な実技の能力と学力を問います。

### (2) 判定基準

専門領域の能力を重視し総合的に判断します。

## 8 試験日程及び試験科目

領域		音 楽 学	作 曲	声 楽	鍵盤楽器	弦 楽 器	管・打楽器
年月日							
令和3年 10月23日 (土)	第 一 次 選 考 ※1	研究計画に基づく 口述試験 13:00～	提出作品を 中心とした 口述試験 13:00～	実 技 10:00～	実 技 9:30～	実 技 10:00～	実 技 10:00～
10月24日 (日) ※2	最 終 選 考	第一次選考合格発表 8:00 場所：本学管理棟で掲示及びウェブサイト掲載（※2・3）					
		外国語（英、独、 仏、伊から1ヶ国 語）10:00～11:30 ※集合時間 9:45	西洋音楽史 9:30～10:30 ※集合時間 9:15				
		音楽学 12:30～14:00	外国語（英、独、仏、伊から1ヶ国語） 11:00～12:00				
11月2日（火）		最終合格発表 11:00 場所：本学管理棟で掲示及びウェブサイト掲載（※3）					

※1 実技試験内容及び課題曲については10～15ページ「実技試験内容及び課題曲」を参照してください。

※2 最終選考は、第一次選考合格者のみ受験することができます。

※3 入試情報提供専用サイト <https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>  
入試情報提供専用サイトにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが、学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

### 【注意事項】

- ・音楽学領域以外の外国語については、辞書の持ち込みを1冊のみ許可します。ただし、電子辞書の使用は認めません。
- ・音楽学領域の外国語については、辞書の持ち込みは不可とします。
- ・遅刻した場合、受験できないことがありますので注意してください。
- ・入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。
- ・上記により受験をご遠慮頂いた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。体調管理については十分に注意してください。

## 9 合格発表

- (1) 日 時 令和3年11月2日(火)午前11時
- (2) 場 所 本学管理棟で掲示（電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。）

※合格者には、合格通知書及び入学手続要領（『入学ガイド』）を郵送します。

※本学ウェブサイトにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが本学から送付する通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

入試情報提供専用サイト <https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

愛知芸大 合格発表

検索

- (3) 追加合格 定員に欠員が生じた場合は、追加合格を行う場合があります。追加合格実施の有無は、令和3年12月21日（火）午後5時に入試情報提供専用サイトにて発表します。追加合格を実施する場合は、令和3年12月22日（水）午前8時から午前10時の間に電話で連絡します。ただし、電話に出ない場合もしくはその場で諾否の意思表示ができない場合は、入学を辞退したものとみなします。

## 10 入 学 手 続

- (1) 手続日  
令和3年12月21日(火)
- (2) 場 所  
本学管理棟
- (3) 入学料及び保険料  
284,430円  
(内訳) ・入学料 282,000円  
・学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償保険 保険料 2,430円  
ア 入学料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、入学料及び保険料は改定されることがあります。  
イ 納付された入学料は返還しません。
- (4) 入学料及び保険料の振込にあたってのお願い  
ア 合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料及び保険料を納入し、所定の提出書類と、入学料及び保険料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続をしてください。  
イ 入学料及び保険料の納入は、**金融機関の窓口**から行ってください。  
ゆうちょ銀行及びATMからは送金しないでください。  
ウ 振込金依頼書の「**ご依頼人**」欄は**合格者本人の氏名**を記入してください。
- (5) 入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- (6) 入学手続を完了した者であっても出願資格において「見込み」で受験し、入学に必要な要件を令和4年3月31日までに満たせない場合は、入学許可を取り消します。

## 11 授 業 料

年額 535,800円 (前期・後期各267,900円。前期分は4月、後期分は10月に納入します。)  
授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。  
なお、授業料は改定されることがあります。

## 12 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について

### (1) 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ② 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者
- ③ 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	令和3年8月6日(金)
-------	-------------

### (2) 入学料の還付

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学料の全部又は半額が還付されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

※入学料は必ず全額納付してください。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ② 入学前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者
- ③ 入学前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	令和3年12月3日(金)
-------	--------------



### (3) 授業料の免除

#### ○日本人学生

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により授業料の一部若しくは全部について免除又は徴収延期となることがあります。詳細については、合格者に別途連絡します。

なお、要件は改定されることがあります。

- ①生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ②申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
- ③申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者
- ④上記①、②、③以外で、経済的理由により授業料の納付が困難な者

#### ○外国人留学生

外国人留学生対象の授業料免除制度が設けられています。詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。※内容については、今後変更する可能性があります。

### (4) 免除制度の問合せ先

学務部学務課 E-mail g-shien@mail.aichi-fam-u.ac.jp

## 13 入試結果の開示

愛知県個人情報保護条例に基づき、音楽研究科入学試験の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができます。

- |                  |   |
|------------------|---|
| (1) 開示請求できる範囲    | 科目別得点、領域別実技試験ランク、面接試験のランク。  |
| (2) 開示できる期間      | 令和3年11月2日(火)合格発表時刻～令和3年12月1日(水)午前9時から午後5時まで。ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。 |
| (3) 開示請求の受付を行う場所 | 本学管理棟3階 芸大総務課   |
| (4) 開示の方法        | 本人部分のみ閲覧。   |
| (5) 開示請求に必要な書類   | 受験票と、身分証明書(学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等)                             |
| (6) 開示請求方法       | 受験者本人が、口頭で本学芸大総務課に申し出てください。   |
| (7) その他          | 電話、E-mail等による成績の開示はいたしません。  |
| (8) 開示に関する問い合わせ先 | 芸大総務課 電話 0561-76-2408(直通)   |

#### 入試結果の情報提供

受験者本人の申し出に限り、郵送による成績の情報提供を行います。  
申込方法及び申請書など、詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

## 14 個人情報の取扱いについて

個人情報については、個人情報保護に関連する法令に基づき適切に管理します。

### (1) 利用目的について

出願にあたって提出された氏名・住所等の個人情報は、入学者選抜並びに必要な応じ入学後の学籍管理、学習指導及び学生支援関係業務において利用します。

### (2) 第三者への個人情報の提供

取得した個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。

ただし、個人情報の保護に関する法令の定めるところにより、提供すべき義務を負う場合には本人の同意を得ることなく個人情報を提供することがあります。

## 15 教 員 組 織 (令和3年4月1日現在)

音楽研究科長 安原 雅之

客員教授 鍵盤楽器 イリーナ・チュコフスカヤ (ピアノ)  
 弦楽器 フェデリコ・アゴスティーニ (ヴァイオリン)  
 オーケストラ 飯守 泰次郎  
 高関 健

作曲 教授 小林 聡 教授 山本 裕之  
 准教授 成木 理香 准教授 安野 太郎

音楽学 教授 井上 さつき ◎ 教授 安原 雅之  
 教授 東谷 護

声乐 教授 中巻 寛子 (メゾソプラノ) 教授 森川 栄子 (ソプラノ)  
 教授 小原 啓楼 (テノール) 准教授 川島 幸子 (ソプラノ)  
 准教授 初鹿野 剛 (バリトン) 准教授 森 寿美 (バリトン)

鍵盤楽器 教授 熊谷 恵美子 (ピアノ) ○ 教授 北住 淳 (ピアノ)  
 教授 掛谷 勇三 (ピアノ) 教授 内本 久美 (ピアノ)  
 准教授 鈴木 謙一郎 (ピアノ) 准教授 中尾 純 (ピアノ)  
 准教授 武内 俊之 (ピアノ)

弦楽器 教授 花崎 薫 (チェロ) 教授 福本 泰之 (ヴァイオリン)  
 教授 白石 禮子 (ヴァイオリン) 教授 桐山 建志 (ヴァイオリン)  
 准教授 渡邊 玲雄 (コントラバス)

管楽器 教授 倉田 寛 (トロンボーン) 准教授 橋本 岳人 (フルート)  
 准教授 ブルックス信雄トーン (クラリネット) 准教授 井上 圭 (トランペット)

打楽器 教授 深町 浩司

教養教育等 教授 石垣 享 (複合芸術研究)  
 教授 井上 彩 (原典研究・英語)  
 教授 水野 留規 (原典研究・伊語)  
 准教授 大塚 直 (原典研究・独語)

◎ … 令和4年3月退職予定

○ … 令和5年3月退職予定

## 非常勤講師

### 作曲

北爪 道夫 (現代の音楽)

長江 和哉 (特殊研究)

ゼミソン・ダリル (特殊研究)

星谷 丈生 (特殊研究)

寺井 尚行 (特殊研究)

### 音楽学

伊藤 円 (コレペティトゥール)

野間 晴久 (アートマネジメント)

七條 めぐみ (特殊研究)

畑野 小百合 (特殊研究)

黄木 千寿子 (特殊研究)

### 声楽

相可 佐代子 (声楽実技)

小泉 詠子 (声楽実技)

升島 唯博 (声楽実技)

渡部 純子 (声楽実技)

佐藤 正浩 (オペラ総合演習、重唱)

寺元 智恵 (特殊研究)

岡崎 智恵子 (声楽実技)

五月女 智恵 (声楽実技)

馬原 裕子 (声楽実技)

飯塚 励生 (オペラ総合演習)

辻 博之 (オペラ総合演習、重唱)

吉田 恵 (特殊研究)

大槻 孝志 (声楽実技)

田島 茂代 (声楽実技)

三輪 陽子 (声楽実技)

石山 英明 (オペラ総合演習、重唱)

山本 敦子 (オペラ総合演習)

### 鍵盤楽器

秋場 敬浩 (ピアノ実技)

伊藤 わか奈 (ピアノ実技)

奥村 理恵 (ピアノ実技)

榎原 涼子 (ピアノ実技)

高橋 早紀子 (ピアノ実技)

中畑 淳 (ピアノ実技)

松本 総一郎 (ピアノ実技)

吉田 恵 (オルガン実技)

朝川 万里 (ピアノ実技)

海老原 優里 (ピアノ実技)

川井 綾子 (ピアノ実技)

進藤 郁子 (ピアノ実技)

鶴見 彩 (ピアノ実技)

廣瀬 啓子 (ピアノ実技)

米川 幸余 (ピアノ実技)

伊藤 隆之 (ピアノ実技)

大瀧 拓哉 (ピアノ実技)

小坂 圭太 (ピアノ実技、室内楽)

高橋 孝輔 (ピアノ実技)

永岡 信幸 (ピアノ実技)

松川 儒 (ピアノ実技)

平井 み帆 (チェンバロ・フォルテピアノ実技)

### 弦楽器

植村 太郎 (ヴァイオリン実技)

西谷 牧人 (チェロ実技)

野村 友紀 (オーケストラ)

島田 真千子 (ヴァイオリン実技)

木村 茉莉 (ハープ実技、特殊研究)

平光 真彌 (オーケストラ)

百武 由紀 (ヴィオラ実技、特殊研究)

石橋 直子 (オーケストラ)

### 管楽器

梶川 真歩 (フルート実技)

宇賀神 広宣 (ファゴット実技)

西條 貴人 (ホルン実技)

林 裕人 (チューバ実技)

シャシコフ・ゲオルギ (室内楽)

岡 北斗 (オーボエ実技)

田中 靖人 (サクソフォーン実技)

長谷川 智之 (トランペット実技)

矢澤 定明 (ウインドオーケストラ)

杉木 峯夫 (室内楽)

杉原 由希子 (オーボエ実技)

安土 真弓 (ホルン実技)

露木 薫 (ユーフォニアム実技)

上田 仁 (室内楽)

ボルショフ・ロバート (室内楽)

### 打楽器

小森 邦彦 (マリンバ実技、室内楽)

### オーケストラ

松本 宗利音 (オーケストラ、指揮法)

### 教養教育等

ロムアルド・バローネ (特殊研究)

井村 和寛 (複合芸術研究)

磯田 有香 (複合芸術研究)

## ■実技試験内容及び課題曲

＜「Ⅰ. 作曲領域の提出作品」及び「Ⅱ. 音楽学領域の研究計画書」の提出時の共通事項＞

- (1) 提出期間：令和3年9月29日（水）から10月8日（金）午後5時まで
- (2) 提出先：入試課
- (3) 郵送の場合は、書留郵便（簡易書留可）により最終日午後5時必着とします。  
ただし、10月8日（金）午後5時以降に到着したものは、10月7日（木）までの消印があり、かつ、書留（簡易書留可）速達郵便に限り受理します。  
なお、封筒の表に必ず「音楽研究科音楽専攻作曲領域提出作品」又は「音楽研究科音楽専攻音楽学領域研究計画書」と朱書してください。
- (4) 直接提出する場合は、午前10時から午後5時までとします。（ただし、土・日曜日、祝日等、大学が休業となる日は受け付けません。）

### I. 作曲領域の提出作品

4曲以上（種類は問わない）の作品を提出してください。

※ 提出作品は楽譜またはCD(-R)やDVD(-R)等（USBメモリやSDカード等に記録した映像や音声データでも可）で提出してください。ただし少なくとも2作品は楽譜の形で提出してください。作品資料提出はコピー（A3サイズ以下）とし、氏名、題名、制作年を明記、必要があれば補足説明なども付けてください。必ず本人の制作物とします。

（作品は後日返却しますので、返却返信用封筒を同封してください）

※ 返却返信用封筒について

- 1 作品の入る封筒に、「返却作品在中」と朱書きしてください。
- 2 返却方法は、郵便局のゆうパックとします。

ゆうパック用紙（料金着払い用）に以下を記入してください。

【お届け先】に、志願者の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入。

【ご依頼主】に、同上と記入。【品名】に、楽譜と記入。【配達希望日】は記入しない。

- 3 上記のゆうパック用紙を返却用封筒に貼付してください。

### II. 音楽学領域の研究計画書

4,000字程度の研究計画を所定の様式で、提出してください。

### Ⅲ. 声楽領域実技

- (1) アリアと歌曲の両方によって構成する 10 分以上 15 分以内のプログラムを組み、入学願書の「受験曲目」欄に【①作曲者名、②曲名、③曲ごとの演奏時間】を記入し提出してください。  
演奏時間には曲間は含みません。実質的な演奏時間が 10 分未満の場合は失格とします。
- ※ アリアと歌曲の両方を必ず演奏してください。
  - ※ アリアは、オペラ・アリア、オペレッタ・アリア、コンサート・アリア、あるいは宗教曲のアリアとし、原則として原調での演奏とします。
  - ※ 演奏はすべて暗譜でおこなってください。
  - ※ 作曲者を問わず、歌詞は原則として原語とします。
  - ※ 曲目は当日指定する場合があります。
- (2) 受験者は伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。  
試験当日、弦楽器領域及び管・打楽器領域の実技試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。

### Ⅳ. 鍵盤楽器領域（ピアノ）実技

- 下記の(a) (b) (c)を必ず含むピアノ独奏作品による 40 分以上のプログラムを用意してください。
- (a) バロック時代の任意の作品
  - (b) 古典派 (J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethoven に限る) の任意の作品
  - (c) ロマン派以降の任意の作品
- ※ 出版されている作品に限ります。内部奏法などの特殊奏法を用いた作品は不可。  
演奏曲目・演奏箇所を実技試験当日に指定します。
  - ※ (a) (b) (c)はそれぞれ複数曲の選択も可。
  - ※ 暗譜で演奏してください。演奏をカットする場合があります。

### Ⅴ. 弦楽器領域実技

<弦楽器領域共通事項>

- ・時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- ・試験当日、声楽領域及び管・打楽器領域の実技試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。

#### ○ヴァイオリン

次の 2 曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Sonaten für Violine solo g-moll BWV1001、a-moll BWV1003、C-dur BWV1005  
より任意の Fuga を 1 曲。原典版の使用が望ましい
- (2) 次のグループ(a)~(g)より任意の 1 曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。  
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。

使用版は自由

- (a) L. v. Beethoven: Konzert D-dur Op. 61
- (b) J. Brahms: Konzert D-dur Op. 77
- (c) F. Mendelssohn: Konzert e-moll Op. 64
- (d) P. Tchaikovsky: Konzert D-dur Op. 35
- (e) A. Dvořák: Konzert a-moll Op. 53
- (f) J. Sibelius: Konzert d-moll Op. 47
- (g) B. Bartók: Konzert Nr. 2 Sz. 112

## ○ヴィオラ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo BWV1007～1011 より任意の Prélude を1曲。  
使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)～(c)より任意の1曲の第1楽章。  
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。
  - (a) W. Walton: Konzert 使用版は自由
  - (b) P. Hindemith: “Der Schwanendreher”
  - (c) B. Bartók: Konzert (遺作)

## ○チェロ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo Nr. 2 BWV1008、Nr. 3 BWV1009、Nr. 4 BWV1010  
より任意の Prélude を1曲。 使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)～(d)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。  
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。
  - (a) J. Haydn: Konzert C-dur Hob. VIIb: 1 使用版は自由
  - (b) J. Haydn: Konzert D-dur Hob. VIIb: 2
  - (c) A. Dvořák: Konzert h-moll Op. 104
  - (d) R. Schumann: Konzert a-moll Op. 129

## ○コントラバス

次の2曲を、いずれもソロチューニングで演奏（暗譜）してください。

- (1) Hans Fryba: Suite im alten Stil (A Suite in the Olden Style) für Kontrabass solo  
より Prélude 使用版は自由
- (2) 以下の協奏曲の中から1曲を選び、その第1楽章および第2楽章。  
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。  
使用版は自由  
  
Serge Koussevitzky: Konzert fis-moll  
Giovanni Bottesini: Konzert Nr. 2 h-moll

## ○ハープ

次の2曲をすべて繰り返しなしで演奏（暗譜）してください。受験の際は本学の楽器を使用してください。

- (1) F. A. Rosetti: Six Harp Sonatas より Sonata 6（繰り返しなし） Susann Mcdonald 版
- (2) C. Salzedo: Variations sur un thème dans le style ancien 使用版は自由  
(8番バリエーションの終わりに明記されているカットを行なって演奏すること)

## VI. 管・打楽器領域実技

### (1) 課題曲

打楽器B課題の受験者を除くすべての楽器の受験者は、伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。試験当日、声楽領域及び弦楽器領域の実技試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。

なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

受験曲目については、フルート、オーボエ、バストロンボーン、打楽器の曲目以外は入学願書に記入する必要はありません。

### (2) 初見演奏（ただし、打楽器受験者はなし。）

#### ○フルート

下記の(1)(2)を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

#### (1) 下記の2曲より1曲を選択し、演奏してください。

(a) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 1 in G Major K. 313 全楽章

(b) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 2 in D Major K. 314 全楽章

・カデンツァ付き、カデンツァは任意のもの。

・演奏箇所は当日指定します。

#### (2) 自由曲（ただし、協奏曲は除く）

・1800年以降、フルートのために作曲された作品から1曲選択すること。

・7分以上10分以内で演奏すること。カットして演奏することも可。

・無伴奏曲も可。

#### ○オーボエ

下記の(1)(2)を演奏してください。暗譜の必要はありません。

#### (1) W. A. Mozart: Concerto in C major K. 314 第1、2楽章<カデンツァ付き>

使用版は自由

#### (2) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。

(a) H. Holliger: Sonate für Oboe solo より

Schott 版

I Präludium と II Capriccio

(b) A. Dorati: 5 pièces pour le hautbois より

Boosey & Hawkes 版

第1曲と第5曲

(c) G. Silvestrini: 6 études pour le hautbois より

Delatour 版または Editions du Hautbois 版

第1曲と第6曲

#### ○クラリネット

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

#### (1) W. A. Mozart: Konzert für Klarinette und Orchester K. 622

第1・3楽章はカデンツァなし、第2楽章はカデンツァありで演奏してください。

#### (2) I. Stravinsky: Three Pieces for Clarinet Solo

### ○ファゴット (バスーン)

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

- (1) F. Devienne: Sonata in F Op. 24 No. 3

1. Allegro 2. Largo 3. Rondo Allegretto

- (2) E. Bozza: Récit, Sicilienne et Rondo

### ○サクソフォーン

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

J. Ibert: Concertino da camera 全楽章

Leduc 版

### ○ホルン

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

- (1) W. A. Mozart: Konzert für Horn Nr. 4 Es-dur K. 495 <カデンツァなし>

- (2) P. Hindemith: Sonate für Horn F-dur

### ○トランペット

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

Henri Tomasi: Concerto pour Trompette et Orchestre

Leduc 版

### ○トロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: Concertino in E $\flat$ , Op. 4

Zimmermann 版

暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。

- (2) Vincent Persichetti: Parable for Solo Trombone Op. 133

Theodore Pressere Company 版

暗譜の必要はありません。

### ○バストロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: Concerto (Concertino) in B $\flat$  for Bass Trombone

Zimmermann 版

暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。

- (2) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (a) J. S. Bach: Cello Suite No. 5 BWV1011 より Sarabande

使用版は自由

繰り返しありで演奏してください。

- (b) F. Hidas: Meditation

使用版は自由

- (c) Walter S. Hartley: Sonata Breve 全楽章

使用版は自由

### ○ユーフォニアム

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) J. S. Bach: Sonate en Trio No. 1 BWV525 より第1楽章

Gerard Billaudot 版

- (2) J. Horovitz: Euphonium Concerto 全楽章

Novello 版



○チューバ

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

Jan Koetsier: Concertino Op. 77 for Tuba and String Orchestra

Editions Bim 版

○打楽器

以下の **A 課題** または **B 課題** のどちらかを選択してください。

願書、受験者写真票及び受験票「志望領域」欄に、A 課題を選択した場合は「打楽器 (A)」、B 課題を選択した場合は「打楽器 (B)」と記載してください。

**A 課題** 下記の2曲を演奏してください。

- (1) セットアップを含む楽器編成による任意の楽曲(10分程度、省略可)
- (2) ティンパニによるオーケストラスタディ

Georg Friedrich Händel / Der Messias HWV56 より Hallelujah (ピアノ伴奏付き)

ピアノ伴奏譜は Breitkopf 版 (Edition Breitkopf 2419) を使用してください。

- ・課題(1)の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・入学願書の「受験曲目」欄に、使用する楽器(持参する楽器も含む)を記入してください。
- ・大物打楽器は本学所有のものを使用いただけますが、持参する楽器がある場合は、出願の際に申し出て、搬入・搬出方法について本学と協議してください。
- ・課題(1)の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。

**B 課題** 下記の曲を演奏してください。

マリンバによる、12分程度の無伴奏独奏曲(省略不可)。暗譜で演奏してください。

(参考例) 向井耕平: Prelude and Allegro, A. Viñao: Khan Variations、

J. Schwantner: Velocities、R. R. Bennett: After Syrinx II

- ・上記の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・上記の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。
- ・マリンバは本学所有のものを使用してください。(ヤマハ: YM-5100A)

## ■令和3年度音楽研究科博士前期課程入試 試験実施状況

音 楽 研 究 科	領 域	募集 人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	作 曲	30	4	3	2	2
	音 楽 学		1	1	1	1
	声 楽		19	19	7	7
	鍵盤楽器		17	17	10	10
	弦 楽 器		9	9	7	6
	管 楽 器		7	6	2	2
	打 楽 器		2	2	2	2
	計	30	59	57	31	30

## ■令和3年度音楽研究科博士前期課程入試 試験問題

### 西洋音楽史（作曲・声楽・鍵盤楽器・弦楽器・管楽器・打楽器領域）

#### 【試験問題】

- I 20世紀の前半から後半にかけて音楽がどのように変わったか、下記からひとつ選び、主要な作品を挙げながら自由に論じてください。文字数の制限はありません。
- (1) 鍵盤楽器
  - (2) 声楽を含む作品
  - (3) 管弦楽
  - (4) 室内楽
- II ベートーヴェンの生涯は、しばしば〈初期〉〈中期〉〈後期〉の3つの時期に分割されます。それぞれの時期に書かれた作品の特徴について、複数の作品を挙げながら説明してください。文字数の制限はありません。
- III 下記の年表の①～⑳に該当するものを次頁の選択肢（あ～へ）からひとつ選びなさい。

生没年	作曲家名	代表作
1567-1643	①	《オルフェオ》、《聖母マリアの晩課》
1632-1687	J. -B. リュリ	②
1668-1733	③	《王のコンセール》、《ルソン・ド・テネーブル》
1678-1741	A. ヴィヴァルディ	④
1683-1764	J. -P. ラモー	⑤
⑥	J. S. バッハ	《マタイ受難曲》、《ブランデンブルク協奏曲》
1685-1759	⑦	《リナルド》、《メサイア》
1732-1809	⑧	《天地創造》、《太鼓連打》
⑨	W. A. モーツァルト	《フィガロの結婚》、《ジュピター》
1770-1827	⑩	《ハンマークラヴィーア》、《ミサ・ソレムニス》
1786-1826	C. M. von ウェーバー	⑪
⑫	H. ベルリオーズ	《幻想交響曲》、《ローマの謝肉祭》
1810-1856	⑬	《ライン》、《ミルテの花》
1833-1897	J. ブラームス	⑭
1843-1907	⑮	《ペールギュント》、《叙情小曲集》
1862-1918	C. ドビュッシー	⑯
⑰	A. シェーンベルク	《浄夜》、《月に憑かれたピエロ》
1882-1971	⑱	《春の祭典》、《プルチネッラ》
1906-1975	D. ショスタコーヴィチ	⑲
1908-1992	⑳	《世の終わりのための四重奏曲》、《アッジの聖フランチェスコ》

「生没年選択肢」	「作曲家名選択肢」	「代表作選択肢」
あ：1684-1725	け：A. ブルックナー	な：《ファウスト交響曲》、《超絶技巧練習曲》
い：1685-1750	こ：G. マーラー	に：《ドイツ・レクイエム》、 《ハイドンの主題による変奏曲》
う：1717-1757	さ：F. クープラン	ぬ：《調和の靈感》、《和声と創意の試み》
え：1756-1791	し：E. グリーク	ね：《優雅なインドの国々》、《イポリトとアリシ》
お：1797-1828	す：I. ストラヴィンスキー	の：《ペレアスとメリザンド》、 《牧神の午後への前奏曲》
か：1803-1869	せ：J. ハイドン	は：《売られた花嫁》、《わが祖国》
き：1813-1901	そ：R. シューマン	ひ：《魔弾の射手》、《オベロン》
く：1874-1951	た：O. メシアン	ふ：《アルセスト》、《ミゼレレ》
	ち：F. シューベルト	へ：《ムツェンスク郡のマクベス夫人》、 《レニングラード》
	つ：L. v. ベートーヴェン	
	て：G. F. ヘンデル	
	と：C. モンテヴェルディ	

### 【出題の意図】

大学院での研究に必要な音楽史の基礎的知識を備えているかを問う。音楽史におけるさまざまな様式を認識し、それを歴史的な脈絡で捉えるための知識が必要とされる。

### 【解答】

I (記述式問題のため、省略)

II (記述式問題のため、省略)

III ①と ②ふ ③さ ④ぬ ⑤ね ⑥い ⑦て ⑧せ ⑨え ⑩つ ⑪ひ ⑫か ⑬そ ⑭に ⑮し ⑯の  
⑰く ⑱す ⑲へ ⑳た

## 音楽学 (音楽学領域)

### 【試験問題】

I 次の文章を参考にして、音楽と歌詞／歌詩の関係について、論じてください。なお、文字数の制限はありません。

(出典 小島美子『音楽からみた日本人』)

II 次の(1)～(5)からひとつ選び、論じてください。なお、文字数の制限はありません。

- (1) 生演奏と録音
- (2) 原曲と編曲
- (3) 20世紀における聴衆
- (4) 21世紀における音楽文化
- (5) 音響にみるホールでの演奏と野外での演奏

III 次の①～⑮のなかから10個選び、説明してください。

- |                       |                  |                |                              |
|-----------------------|------------------|----------------|------------------------------|
| ①Gesamtkunstwerk      | ②フランス風序曲         | ③多感様式          | ④Camerata                    |
| ⑤Charles Burney       | ⑥basso continuo  | ⑦ritornello    | ⑧12音技法                       |
| ⑨Johann Peter Salomon | ⑩Sturm und Drang | ⑪Tin Pan Alley | ⑫American folk music revival |
| ⑬薩摩藩軍楽伝習隊             | ⑭ヨナ抜き音階          | ⑮歌伴            |                              |

### 【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な基礎的知識および理解力、資料読解力、論述力を備えているかを問う。なお、西洋音楽史を中心に出题している。

【解答】(記述式問題のため、省略)

## 外国語〔英語・独語・仏語・伊語〕（作曲・声楽・鍵盤楽器・弦楽器・管楽器・打楽器領域）

### 【出題の意図】

大学院での研究に必要な外国語の文献を理解する能力を備えているかを問う。外国語の文章の語句、節、文レベルの理解だけでなく、段落全体の論旨の展開を把握する読解力が必要とされる。また、解答に際しては原文の理解を正確な日本語で訳出することが求められる。

### 【出典】

- 〔英語〕・ Lehmann, A.C. et al. (2007). *Psychology for Musicians*.  
・ Monelle, R.(2002). *The criticism of musical performance*.

〔独語〕・ Aus: Edwin Fischer: *Von den Aufgaben des Musikers*.

- 〔仏語〕・ Louis Jambou et Jean Mongrédien, « MUSIQUE, MUSICIENS », in : Lucien Bély(dir.), *Dictionnaire de l'Ancien Régime*, Paris, Presses Universitaires de France, 2006  
・ Didier Francfort, « La lyre transalpine : influence musicale des immigrés italiens dans la société française », in : Stéphane Mourlane et Dominique Païni(dir.), *Ciao Italia ! Un siècle d'immigration et de culture italiennes en France*, Paris, Editions de La Martinière, 2017

- 〔伊語〕・ *Libretti d'opera per stranieri, La Traviata*, 1997, Bonacci  
・ *Libretti d'opera per stranieri, La Bohème*, 1997, Bonacci  
・ *L'italiano contemporaneo*, Paolo D'Achille, 2006, Il Mulino

## 外国語〔英語〕（音楽学領域）

### 【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な、語学の能力を備えているかを問う。

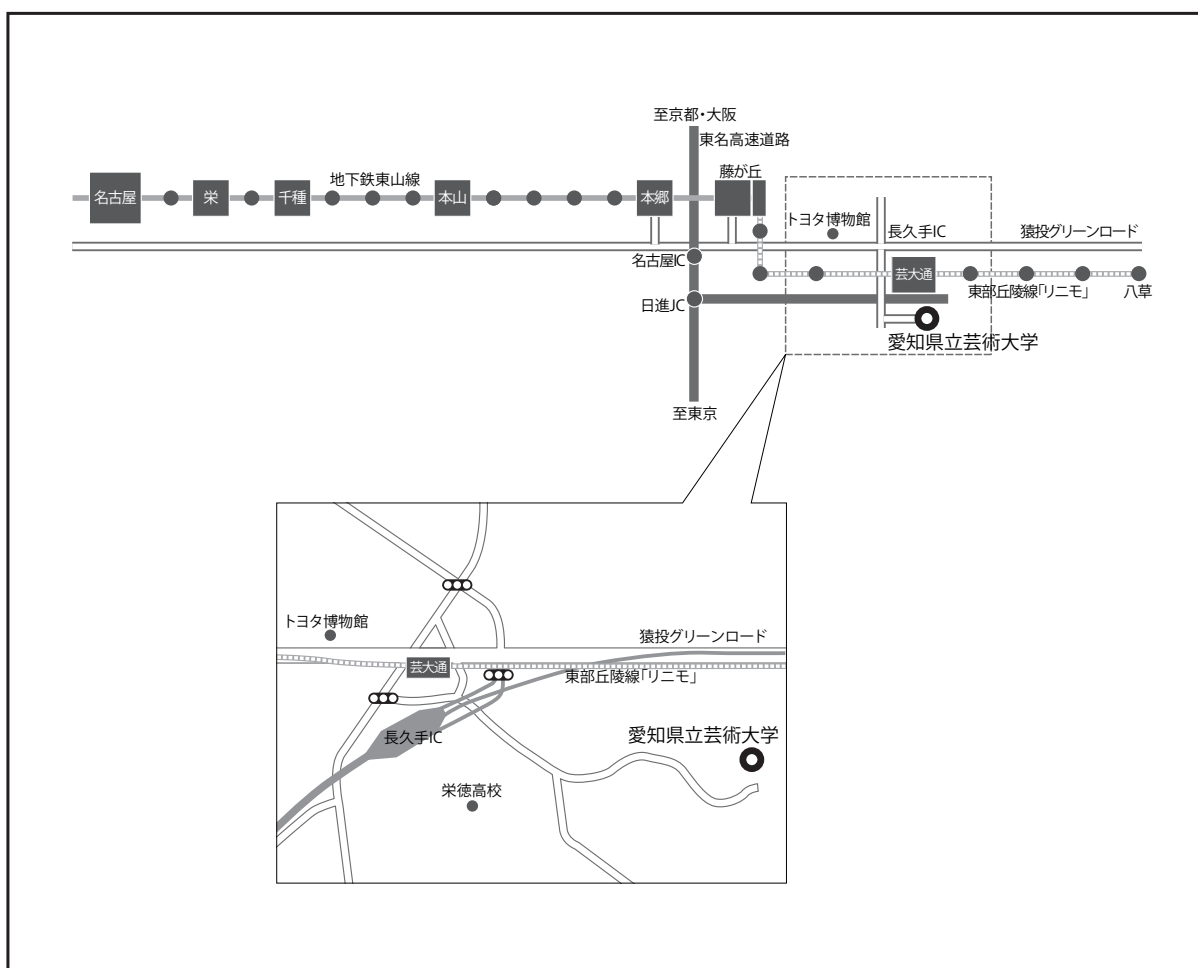
### 【出典】

- 〔英語〕・ Esther M. Morgan-Ellis, “‘Making the many-minded one’: Community Singing at the Peabody Prep in 1915.” *The Musical Quarterly*, Winter 2019  
・ Michele Girardi, “Puccini, Giacomo (ii).” *Grove Music Online*.

※外国語の試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。

（閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで）

# 所在地案内図



## ■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約20分。

## ■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

# 愛知県立芸術大学

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課  
〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114  
TEL 0561-76-2603(入試課直通)

入試情報提供専用サイトURL <https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

